

○第8回全体委員会（書面協議）でいただいたご意見等

番号	委員名	ご意見等	考え方
1	西澤委員長	特にありません。	
2	寶金副委員長	特にありません。	
3	野呂委員	特にありません。	
4	樋口委員	点検・評価について、ステップを明確にして目標と目標値・具体策・責任の明確化・評価の方法と時期などの具体的な項目を提示しますか？	「ロードマップ」で示した項目に沿って、経営改善の達成状況を点検・評価していただきたいと考えております。
5	野村委員	特に質問、意見ありません。	
6	石井委員	特にありません。	
7	水野委員	報告書本文に異議はありません。 最後の医療従事者への敬意の部分ですが、「江別市立病院」で勤務されている方への感謝であることが、より伝わるような表現にしていただけると幸いです。	「江別市立病院」に勤務している医療従事者への感謝がより伝わるような表現に修正します。
8	後藤委員	●答申の日程について 第2次答申案が専門委員会で検討されて出てきていますが、全体委員会当日に答申を行うということは、全体委員会の討議は形式的なもの、という取り扱いであるように思えます。 確かに第8回は「書面協議」となっていて、意見等を集約することで形式的に協議をしたという押さえだとは思いますが、実際は説明も受けていませんし「協議」にもなりません。 専門委員会の皆様で十分検討されたものだと思いますので、内容に問題があるということではありません。あり方としてこの日程には問題があるのではないかとということです。	新型コロナウイルス感染症対策の観点から、第8回全体委員会については、書面協議とさせていただいたところです。 第2次答申については、第8回全体委員会の書面協議の結果を踏まえ、第9回全体委員会において合意形成に至った場合には、同日で行い、合意形成に至らなかった場合には、別日程での答申を想定しております。
9	後藤委員	●経営形態の方向性 独立行政法人への移行は、集中改革期間の結果によらず、集中改革期間終了後のそれほど遅くない時期に移行すべきであると読み取ってよろしいでしょうか。 職員の身分の問題にも関わるので、確認させていただきました。	地方独立行政法人への移行については、集中改革期間における経営再建により、収支均衡を実現することが前提条件になると考えております。

番号	委員名	ご意見等	考え方
10	後藤委員	<p>●外部委員会について 特に集中改革期間のロードマップ実現が重要なのだと思いますが、その実現の見通しはどのようなのでしょうか（事務局からの資料に対して）。</p>	<p>集中改革期間における経営再建による収支均衡の実現に向け、ロードマップに基づく経営改善を着実に進めていきたいと考えております。</p>
11	後藤委員	<p>改革内容自体は、過去のものとは大きく違わないという指摘もある中で、過去にできなかったことを確実に達成するための一つの手立てとして、今回の第1次答申では「外部委員会」の設置が盛り込まれています。 しかし、本年度に入って2ヶ月経過している状況でもまだ設置の動きが見えません。答申の基本理念のひとつである「迅速」という観点から見ると遅いように思えますが、なにか事情があるのでしょうか？</p>	<p>本委員会が6月まで継続協議となっており、専門委員会において、外部委員会の権限等についても、継続的にご審議いただいていたところです。今後、速やかに、外部委員会を設置すべく、取組を進めたいと考えております。</p>
12	後藤委員	<p>医師確保専門部署の組織化も進んでいないということを目にしましたがどうなのでしょうか。</p>	<p>4月1日付けにて、医師確保の専任部署として、「経営推進監」を設置しております。また、医師招聘の指導・助言を担う職である「顧問」の設置を予定しております。</p>
13	後藤委員	<p>第1次答申の時に、委員の構成等については市側で検討してもらったものというお話だったと思いますが、このような状況を考えますと、外部委員会のあり方については、もっと踏み込んだ答申内容にしてもいいのではないかと思います。 ・設置期限・・・〇〇までに ・構成メンバー案（個人名ではなく）・・・専門委員を中心に選出 ・運用について・・・点検の頻度や内容、権限等 ※その他、「設置要綱等」については、選出された委員との協議を経て決定するなど また、すでに存在する「評価委員会」との関係も明らかにしておく必要があるように思います（答申内容とは別に）。</p>	<p>外部委員会については、市において、現在、本委員会からいただいた提言内容を踏まえ、設置に向けた準備を進めております。 また、「設置要綱」については、本委員会からの提言内容を踏まえ、点検・評価の実効性が確保できるよう、市において適切に定めたいと考えております。 なお、外部委員会を設置する際には、既存の「江別市立病院経営健全化評価委員会」との関係についても明確にしたいと考えております。</p>

番号	委員名	ご意見等	考え方
14	後藤委員	<p>今回の答申も含めて、市民に向けての情報を発信していくと思いますが、第一次答申の時にも話題になったように、市民にわかりやすい、情報発信をお願いします。</p> <p>今年度、江別市内の小中学校への配分予算が10%削減されてきました。たださえ学校施設の老朽化や備品等の不備不足が問題になっている中での予算削減は、かなり大きな影響があります。若年層人口が多いことが自慢の江別市において、このようなことが積み重なるのはかなりのマイナスなのではないでしょうか？教育以外の面でも、このようなことがあちこちに起こっているのではないかと思います。</p> <p>こういうことは、関心を持って調べればわかることなのでしょうが、多くの方はそうはしませんし、調べない方が悪いともなりません。市立病院の経営悪化が、知らないところで行政サービスの低下や市民の負担増につながっていることは、もっとわかりやすく、広く知らせるべきではないかと思えます。</p> <p>病院の再建のためには市民の協力が不可欠との議論からも、この点はかなり重要なのではないかと考えました。</p>	<p>市民の理解と協力のもと経営再建を進めるには、市民に対する分かりやすい情報発信が重要であると考えており、分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>
15	森委員	特にありません。	
16	長野委員	答申書について了承します。	
17	中田委員	特にありません。	
18	高田委員	<p>第1次及び第2次答申全体フレームの要点は、ロードマップの着実な実践にある（特に初年度）。結果が全てであり、1次答申にある「経営再建の基本理念」である「柔軟」、「迅速」が最重要。特に医師確保については、目に見える結果を望む。</p>	ご意見のとおりと考えます。
19	高田委員	令和3年度からの地方公営企業法の全部適用に向けて取組を進めるのが望ましいのではないかと。	集中改革期間中の適切な時期において、地方公営企業法の全部適用に移行すべく、取組を進めていきたいと考えております。
20	鈴木委員	外部委員会が継続的に点検・評価するとなっておりますが、どのタイミング（毎月なのか、半年なのか）、成果の指標（収支均衡だけなのか）について、踏み込んだ方が「外部委員会」の意義があるのではないかと考えました。	ご意見については、外部委員会の設置の際に、配慮させていただきたいと考えます。

番号	委員名	ご意見等	考え方
21	鈴木委員	<p>コロナの影響で受診率低下等の損失があったかと予想できません。3～5月期のみでよいのか、長期的な損失が予測されるのか（その場合、令和4年まで維持できるのか）、答申書のあり方が変わってくるのかなと感じました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響については、不透明な部分がありますが、外部委員会の点検・評価を受けつつ、着実に経営再建を進めることが重要であると考えております。</p>